

カーボンクレジット創出に関わるドローンからの森林資源量解析技術の開発

代表機関：DeepForest Technologies 株式会社

共同研究機関：-

実施年度：2023年度 (フェーズ3)

キーワード：カーボンクレジット、森林計測、ドローン

研究代表者：大西 信徳



森林でのカーボンクレジット創出に必要な森林の現状把握やモニタリング、このコストがかかる作業を誰でも簡単にかつ低コストでできるように、レーザードローンから自動で森林を解析する新たな技術開発に成功し、また解析困難な広葉樹林の解析も可能な技術の確立に成功した。事業面では資金調達に成功し、今後さらなる技術開発と海外展開に繋がる成果が得られた。

背景・目的 森林でのカーボンクレジット創出を低コストにかつ簡単に

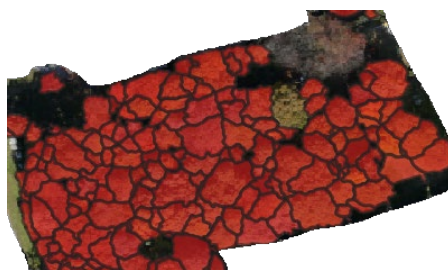
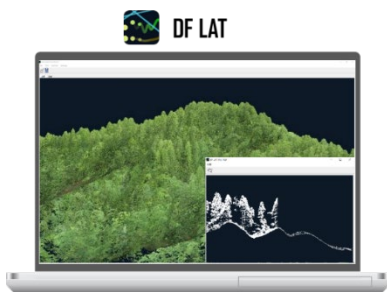
森林分野ではカーボンクレジットの創出により、放置されている森林の管理をすることで収益を得ることが可能になりつつある。しかし、現状のカーボンクレジット創出のための調査や観測コストはカーボンクレジットの価格を押し上げ、売れ残りなども生じている。そこでドローン計測から森林由来のクレジット創出までを可能とする森林情報解析ソフトウェアをトータルサービスで開発・提供を行い、多くの人が簡単にかつ低コストに森林調査とクレジット申請を可能にする。

研究成果 ドローンから誰でもクレジット創出が可能なシステムの開発に成功

レーザードローンからクレジット創出に必要な地面検出・樹高推定が可能なソフト「DF LAT」を開発

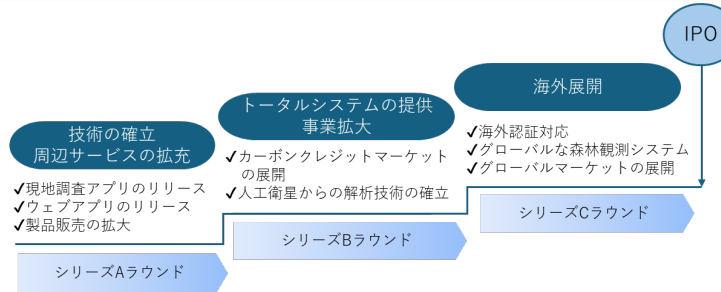
広葉樹林での単木単位での森林解析を可能にするAIによる樹冠検知技術を確立

2024年6月に第三者割当増資による約2億円の資金調達に成功



今後の展開方向 カーボンクレジット用のトータルサービスを世界へ展開

ドローンと人工衛星を複合的に用いて森林を観測する技術を開発するとともに、現場調査用のアプリや申請用のウェブサービスなど周辺サービスを拡充し、世界でカーボンクレジットの申請から観測、売買が可能なシステムの構築を目指す



<代表機関概要> DeepForest Technologies 株式会社

■HP：<https://deepforest-tech.co.jp>

■所在地：京都市左京区吉田本町京都大学国際科学イノベーション棟

■連絡先：mail[アット]deepforest-tech.co.jp ([アット]を@に置き換えてください) 2024年8月31日時点

